

6) 用語集

あ行

アセット	「資産」「財産」「資源」「有価物」「利点」「強み」などの意味を持つ様々な意味で使われる言葉。一般的には「資産・財産」という意味で使われる。
イノベーション	「開発などの活動を通じて、利用可能なリソースや価値を効果的に組み合わせることで、これまでにない製品・サービスなどの『価値』を創出・提供すること。
インセンティブ	目標達成への内的な意欲を引き出すための外的な動機付けや刺激策を指す言葉。具体的には、金銭付与や評価によるものなど様々である。
インバウンド	外国人が訪れてくる旅行のことを指します。自国(日本)から外国へ出かける旅行をアウトバウンドという。
インフィニティプール	インフィニティプールは、水面をギリギリまで上昇させ、プールサイドにある縁を見えなくすることで、外縁が存在しないかのように見せかけたプール。プールの水面が周りの景色と一体化して見えるよう設計されている。
ウェルネス機能	健康に関する総合的な概念で、身体的・精神的・社会的な側面を含んだ状態を指す。単に病気でないことだけではなく、カラダと心を健康に保つことを目指すとした機能。
ウォーカブル	車中心の都市から歩行者中心の都市シフトを目指す戦略用語。街路空間を車中心から人中心へ再構築し、人々が集い、憩い、多様な活動を行える場を創り出す取り組み。
オープンデータ	特定のデータが、一切の著作権、特許などの制御メカニズムの制限なしで、全ての人が望むように利用・再掲載できるべきであるというアイデア。具体的なオープンデータの公開や活用については、デジタル庁や政府 CIO ポータルなどが情報を提供している。

か行

カーボンニュートラル	温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、気候危機を回避するための目標・取り組み。
グリーンスローモビリティ	電動車を活用した小さな移動サービスで、地域の交通の課題の解決や低炭素型交通の確立を目指す取り組みで、具体的には、時速20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用し、地域内交通の確保や新たな観光モビリティの展開など、地域が抱える様々な交通の課題を解決しつつ、低炭素型モビリティの普及を進めている。
航空関連産業クラスター	航空機整備を中心とした産業集積を指す。

か行(続き)

交通結節点	複数の交通手段の接続が行われる場所を指す。代表的なものとしてターミナル駅、バスターミナル、ハブ空港などがある。
コミュニティバス	地域住民の移動手段を確保するために地方自治体等が運行するバス。糸満市では「いとちゃんバス、いとちゃん mini」が運行。
コンソーシアム	「コンソーシアム」は、共同事業体や共同体を指す言葉であり、企業や組織、政府機関などが共通の目的に沿った活動を行う団体を指す。
コンタクトレス決済	クレジットカードをかざすだけで支払いができる非接触型カード決済のことを指す。
コンドミニアム	キッチンやリビング、洗濯機などが備えられた宿泊施設の一形態。

さ行

サプライヤー	ビジネスで言うところの、「業者」や「仕入先」、「供給元」といった意味を持つ。
産業インフラ	各種産業の持続・発展を支える設備や施設を指す。産業インフラとして、交通、エネルギー、産業機械、通信、空間等がある。
シームレス	「縫い目がない・継ぎ目がない」という意味で、公共交通のシームレスな乗り継ぎなどと使われる。
スポーツツーリズム	スポーツによって楽しみや経済価値を生み出すために、人を移動させる取り組み。スポーツツーリズムは、観戦ツーリズム、参加ツーリズム、支援ツーリズムの3つの方向性に分けられ、地域の観光資源やインバウンドを活用して地域活性化を目指すことが期待されている。
セールアンドリースバック方式	企業が資金調達のために行うための方法の一つ。所有している資産を売却し、その後リース契約を結んで売却した資産を使い続ける手法。

た行

ダイナミズム	「力強さ」や「迫力」「活力」などを意味する言葉。
デジタルサイネージ	駅や店舗、施設、オフィスなどに、ディスプレイやプロジェクターなどの映像表示装置を設置して情報を発信するシステム。これは、広告宣伝や情報案内、空間演出などに利用されています。
デジタルトランスフォーメーション	デジタルトランスフォーメーション(DX)は、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立することを指す。
デマンドバス	予約する利用者に応じて運行する時刻や経路が変わる交通方式。公共交通機関の縮小や代替手段として、全国各地で導入が進んでいる注目の輸送サービス。
トラックバース	トラックが荷物の積み下ろしのために使うスペース

た行(続き)

トランジット機能	一般的に、飛行機の乗り継ぎをするために経由地の空港に一時的に立ち寄ることを指す。
----------	--

は行

バイオマス	再生可能な生物由来のエネルギー源の総称です。
ビッグデータ	人間では全体を把握することが難しい巨大なデータ群のことを指す。インターネットでの購買履歴や行動履歴などからも収集出来る。
フィーダー交通	幹線交通と接続して支線の役割を果たす公共交通システム。
ブリッジ人材	言語や文化の異なる海外法人や外国人との間で商取引や交流を行う際、円滑なコミュニケーションを実現させる役割を担う人のことを指す。通訳だけでなく、異なるビジネス慣習がある国や地域同士が円滑に取引を進められるよう、双方の認識を擦り合わせる仕事が仕事。
ブルーカーボン	「ブルーカーボン」は、沿岸・海洋生態系に取り込まれ、そのバイオマスやその下の土壌に蓄積される炭素のことを指す。海草、海藻、マングローブ林などの生態系があげられる。
ヘルスツーリズム	旅行をきっかけに健康増進や疾病予防を図る活動を指す。旅行中に健康回復・健康維持を促進したりすることを目的とし、旅行後も健康的な行動を持続することで、日常生活を豊かに過ごすことができるようにすること。

ま行

マルチテナント型物流施設	賃貸型の物流倉庫の一形態で、一棟の倉庫を複数のテナントで共有するシステム。
モーダルコネクト	日常生活や経済活動を支える重要な基盤である道路ネットワークと多様な交通手段を連携し、利用者が交通を選択しやすい環境を作ることを目指す概念。人々が歩行、自転車、バス、電車などの交通手段を柔軟に組み合わせて利用できることを目指している。
モビリティ	「移動」を意味する言葉で、移動や輸送に関わるあらゆる手段・手法を指す。

や行

ユニバーサルデザイン	すべての人々が利用しやすい製品、サービス、空間のデザインのこと。
ユニバーサル観光	高齢者や身体が不自由な方、妊婦、乳幼児を連れた家族、知的障がい者、精神障がい者、視覚・聴覚障がい者など、なかなかスムーズに旅行をすることが難しい方などすべての人が楽しめる旅行のことを指す。

ら行

リーディング産業	経済成長をけん引する中核的な産業
ルーフトップガーデン	屋上に作られた庭の一形態で、都市型の建物や住宅の屋上に設けられる。
ロジスティクスパーク	物流施設を中心としたエリアで、商品の保管、仕分け、配送、輸送などの物流プロセスを効率的に行うための施設(エリア)。

わ行

ワーケーション	仕事と休暇を組み合わせた働き方で、リモートワークを活用して異なる場所で仕事をしつつ自分の時間も充実させる。
---------	---

A～Z

BRT	「Bus Rapid Transit(バス・ラピッド・トランジット)」の略で、バスをベースとした高速運行の公共交通システムを指す。
CASE	自動車業界において注目されているキーワードであり、以下の 4 つの要素を指す。:Connected(コネクテッド)Autonomous(自動運転)Shared & Services(シェアリングとサービス)Electric(電動化)。
ICT	「Information and Communication Technology」の略称で、「情報通信技術」を指す。コンピュータを単独で使うだけでなく、ネットワークを活用して情報や知識を共有することも含めた幅広い言葉。
Maas	移動手段をサービスとして提供する考え方。複数の交通手段を統合し、決済から自動運転のEV利用まで幅広いアイデアが模索されている。
MICE	MICE(マイス)は、ビジネスイベントの総称で、以下の 4 つの頭文字から成る造語。Meeting (会議・研修)Incentive Travel (報奨・研修旅行)Convention (国際会議・学会会議)Exhibition (展示会・見本市・イベント)
PFI 方式	Private Finance Initiative の頭文字(PFI)をとったもの。民間資金を活用して公共事業を実施する手法の一つ。民間企業が地方公共団体等と提携して、建設、運営、管理などの業務を行いながら、一定期間にわたって事業の収益を得る仕組み。
SDGs	2030年までに持続可能でより良い世界を築くための国際目標。17のゴールと169のターゲットから構成される。
UJI ターン	Uターンは、地方出身者が都市部へ移住したあと再び地方へ移住すること、Iターンは、都市部に生まれ育った人が地方に移住すること、Jターンは、進学や就職で地方から都市に移住した後、生まれ育った地域に近い地方都市に移住することを指す。

A～Z(続き)

ZEB 化・ZEH 化	「ZEB」(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)と「ZEH」(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)ことを指す、建物の省エネ設計と構造を通じて、年間のエネルギー消費を実質ゼロに近づける取り組み。
ZEH 住宅	「ZEH」(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)ことを指す、建物の省エネ設計と構造を通じて、年間のエネルギー消費を実質ゼロに近づける取り組み。

数字

1.5 次産業	農業や漁協において、1次産業従事者が収穫物に付加価値を加えて収益を確保できるようにした事業形態を指す。
6 次産業	農林漁業者が自らの農業活動だけでなく、加工や販売など他の産業分野にも関与することで、生産物の付加価値を高める取り組み。 1 次産業×2 次産業×3 次産業＝6 次産業